

0020

保存期限		決裁指定		執行指定	
受領番号		件名		大臣 委	
3540		出版物送付ノ件		局長 主務	
起元廳(課)名		參與官		次官	
軍事情報部		高級副官		政務次官	
書記官		主務副官		參與官	
審案 筆記者		主務課員		書記官	
決行(決裁)後 回覽 課名		決行(決裁)後 回覽 課名		決行(決裁)後 回覽 課名	
印刷部		印刷部		印刷部	
集保		集保		集保	
2		2		2	
房官大臣		課局務主		大臣 委	
了結 領受		出提 領受		局長 主務	
昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		次官	
昭和 年 月 日		昭和 年 月 日		政務次官	
(裁決)行決		帶 連		高級副官	
長局		長局		主務副官	
長課		長課		主務課員	

政務次官 回付 決裁 前連帶 後課名

決行(決裁)後 回覽 課名



集保 2

本省ヨリ内務省へ送付案

一、戦時ニ對スル戦力ノ統制ニ就テ

右陸軍省軍事調査部ニ於テ發行ニ付出版法第四條ニ依リ
製本 貳部送付ス

圖書第七九一九號 昭和八年三月廿七日



0022

戦時に對する戦力の統制に就て

昭和九年一月四日
陸軍省軍事調査部

戦時に對する戦力の統制に就て

目次

0054

0023

一 前言……………一頁

二 各國總動員準備の概要……………三

 イ 米 國……………三

 ロ 蘇 國……………四

 ハ 佛 國……………五

 ニ 英、獨、伊……………五

三 我國總動員準備の大觀……………六

 イ 精神動員……………七

 ロ 人員動員……………九

 ハ 産業動員……………一

 * 不足資源の補填……………二

目次……………一

b 過剰資源の對策	二四
o 工場動員	一四
ニ 貿易管理	一七
ホ 金融動員	一八
へ 其他	二〇
四 結言	三三

二

戦時に對する戦力の統制に就て

一 前 言

使用兵力少く裝備亦簡單にして戦争の規模狭少であつた往時に在りては、動員は主として陸海軍の範圍のみに止まり、爾他百般の諸施設に至つては、格段の變革を要しなかつたが、世界大戰以來徹底的に科學化する裝備と、膨大なる動員兵力とを以て持久に陥り易き特性を有する近代戦に對しては、精銳なる國軍を骨幹とすべきこと勿論であるが、更に國家國民の全智全能を擧げて、國防に當るを必要とするに至つた。従つて巨大なる軍の需要を充足すると共に、可及的範圍に於て國民生活を確保し、軍民一體能く戦争の重壓に堪へて、其目的の貫徹を期せんが爲には、國防に關する一切の要素を精査して、國民精神の指導、不足資源の補填、經濟機構の改變等戦時資源の統制運用に關し、平時より各般の計畫施設を完備し、戦争の當初より一貫せる方針に基づき、整然たる戦争指導を爲すの必要を生じた。

戦時に對する戦力の統制とは國を擧げて行ふ戦争準備即ち總動員準備であつて、軍の戦力を保持増強すべきものであるから、其完成を見ない限り、軍自體の戦争準備が如何

戦時に對する戦力の統制に就て

一

に完備しても、近代戦に應ずる眞の完全なる準備と謂ふことは出来ない。我國の如く軍需資源に乏しく、且工業力が未だ所望の域に達して居ない國に於ては特にそうである。

軍備は平時に於ては之を最少限度に保有し、國際情勢の急迫に伴ひ神速に國の堪へ得べき最大限度に擴充し、莫大なる軍の需要を完全に充足して、速戦即決、速に戦争を終局に導くを以て理想とするのであるが、國を擧げて行ふ此戦時態勢への轉移を整々にし、全國力を打つて一丸とし、之を戦争遂行の一點に集中發揮せしむることが、即ち總動員であつて、特に我國の如く少數の平時兵力に甘んせなければならぬものに在つては、此準備の完成を俟つて始めて將來戦に於ける戦勝の光明を確信し得るのである。加之總動員準備は、其計畫の進捗に伴ひ、不足資源の開発、過剩資源の消化及發明研究の氣運を促進し、延いて巨額に上る軍需品の死蔵を節約し、更に非常時統制經濟の對策を講せしむる等、平時國の經濟的發展に貢獻する効果も亦決して尠くないのである。

世界大戰に於て、總動員に關する準備を缺き、塗炭の苦汁を滿喫した列強は、一面軍縮に依る缺陷を補はんとして、齊しく皆、經濟的間接戰備たる本計畫の完成を急いで居る。一九三六年前後の全面的危機に加ふるに蘇國の赤化工作は其銳鋒を東洋に進め國力の發展に伴つて活動漸次活潑となり、又歐米諸國の支那に對する利權獲得運動は彼をして愈、

抗日毎日に狂奔せしめ更に米蘇、蘇支の國交恢復となり東亞を蔽ふて暗雲低迷、我國をして重大なる決意をなすの必要に迫らしめつゝある此時局に處すべき我非常時對策は、軍備の擴充を以て第一要義とすべきこと勿論ではあるが、更に速急に他國に優先して國防に關する各種要素を總動員し、來るべき危機に備ふるの準備を完成しなかつたならば、彼の或は豊富なる資源と、偉大なる工業力とを有し或は膨大なる平時兵力を擁して尙且戰備に汲々たる隣邦列強に對し、我戰爭準備は甚だしき缺陷を有するものと言はざるを得ない。

二 各國總動員準備の概要

イ 米 國

陸軍省所管 總動員業務は陸軍省の擔任に屬し、陸軍次官主管の下に數個の補給部局を設け、關係各省及民間團體之に協力して、専ら重點を軍需品の補給統制に置き、調査、研究、補給計畫並戰時諸機關の編成等に關し、徹底せる具體的準備を進めつゝある。

總動員法、産業大學 一九二六年上下兩院に提出せられた總動員法案は、大統領に資源統制の獨裁權を賦與せんとするものであるが、未だ制定公布を見ない。然れども、工業動員の要員と思惟せらるゝ豫備兵器將校の外、特に産業大學を設置して産業動員統轄要員の養成に任じて居る。

戰時對する戦力の統制に就て

國防記念日、教育註文制度 又一九二四年以來國防記念日を設けて一般國民に對する總動員演習を實施して居る等吾人の注意を惹くものが少くないのみならず、一萬數千個の民間工場に對しては、平時より教育註文制度に依て、兵器の製造に習熟せしめ、戰時是等の工場が命令一下直に軍需品の製造に轉換擴充し得る如く周到なる計畫を準備して居る。

□ 蘇 國

國民生活極度の壓迫を意とせず、國防勞動會議、國家計畫委員會に於て、第一、第二次の産業五年計畫、換言すれば總動員計畫を立案し、各省は其擔任に従ひ、銳意之が實現に向つて蔘進しつゝある。

重工業の重視 第一次五年計畫に於ては、國防の完備は軍隊及國民の訓練と共に、産業の發展に俟つこと大なりとなし、國民總收入の三乃至四割に該當する累計九百億留の巨額を投じ、特に重工業を重視して、工業に於ては二乃至三倍、農業に於ては一倍半に其生産力を増加せしめつゝある。

第二次五年計畫に於ては、累計千四百乃至千五百億留を以て、國民經濟の再組織を完成し、其全部門に互り最新の技術的基礎を創造すべく將に其第一年を終らんとして居る。本産業計畫の成果が、蘇國當初の企圖に副はなかつたことは明であるが、其電化事

業又は機械工業等に於て、一段の進歩を見たることは事實であつて、特に其工業地の中心が、逐次東漸の勢を示して居るのは、吾人の最も關心を要する所である。

ハ 佛 國

高等國防會議に、研究委員會及常置事務局を附して、總動員計畫を設定し、各省は各其擔任に従ひ、具體的細部計畫を立案して居る。

總動員法 一九二八年上下兩院に於て可決せられたる國家總動員法案は、全國民の國家防衛義務及政府の資源強制取得權等を規定せるものであるが、未だ公布せるに至らない。

工業動員管區 然れども官公吏及豫備役將校に總動員業務の教育普及を圖り、又廣く人材を網羅せる軍需工業顧問委員會を陸軍省内に設置し、又工業動員管區を設けて總動員の實施を容易ならしむる等、歐洲政局の不安増加に鑑み、徹底的對策の確立を期しつつある。

ニ 英、獨、伊

英の國防大學、伊國の總動員法 齊しく總動員準備に汲々として居るが、英國は國防大學を設け、一般官公吏及將校等に對する總動員の教育機關たらしむるを特徴とし、獨逸は純然たる總動員準備をも禁止せられて居る爲、國民の體育を奨励し、且、民間航空及機械並化學工業等を進歩發達せしめ、戰時直に軍需工業に轉換利用せんことを期しつ

戰時に對する戦力の統制に就て

五

ゝある。特に伊太利は、其特殊の國情に基き、國防最高會議、國家總動員準備委員會、國防最高會議事務局、産業事務局、産業動員局を設置して、總動員を計畫準備し、一九二九年既に總動員法を制定公布した。

三 我國總動員準備の大觀

軍需局、國勢院、世界大戰に於ける各國の苦き經驗に刺戟せられたる我國は、總動員準備の必要を痛感し、大正七年軍需局を設置し、更に之を擴張して内閣統計局と合併し、國勢院を設置したが、我國情に即せざるものありし爲之を廢止し、昭和二年新に内閣資源局を設立して今日に及んだのである。

資源局 資源局は内閣總理大臣の所管で各省特に陸海軍と密接に連繫し、人的、物的資源一切の統制運用に關し、主として戰時計畫を樹立し、以て戰時に於ける軍の莫大なる需要を充足せしむると共に、國民生活の需要をも考慮する學國一致の資源的戰爭準備を司掌せる機關である。

總動員に關する平時法令 我國に於ては、未だ總動員法が制定公布せられて居ないが、大正七年公布せられたる軍需工業動員法は、戰時に於ける軍需品工場、事業場の管理使用收容並軍事輸送機關、又は政府の管理する工場、事業場に對する全國民の強制徵集等

を規定して居る。本法は其範圍を軍需工業動員に限定し、且内容が甚しく不備である爲、之を總動員法として視る場合に於ては、頗る不完全なるのみならず、未だ施行の態様さへも整へあらざるを遺憾とする。但資源調査に關しては昭和四年資源調査法令が公布せられて以來其狀況を明瞭ならしむることが出来た。

以下若干重要事項に關し、總動員が如何に計畫準備せらるべきかの概要に就き説述する。

イ 精神動員

戦闘の勝敗が物質的威力を凌駕する軍の精神的威力に依て決せらるゝ如く、近代戰に於ける戦争の終局も、亦物的資源よりも人、特に其國民精神に依て決せられるのであつて、世界大戰に於ける露國の崩壊が國民精神の腐敗動搖に依つたことは周知の事實であるが獨逸敗戦の主因も亦實に此に在つたのである。即ち大戰の末期に於ても、獨軍は精鍊なる將兵と優秀なる裝備とに依り、各方面の戦闘尙有利に進展しありしに拘らず、銃後を守護すべき一般國民の士氣倦怠し、戦争繼續の意氣喪失せし爲、遂に内部的崩壊に次いで外征軍の敗退となり、戦敗國としての汚名と屈辱的重壓に羈絆せらるゝに至つたのである。

思想戰 又所謂思想戰は、斯の如く銃後の國民若くは出征軍に對し、思想的攪亂に依りて其戰意を減退放擲せしめ、遂に之を敗者に陥るゝものにして、將來戰に於ては武力戰に

戦時に対する戦力の統制に就て

七

併行し、徹底して此種方策が運用せられるから、之が防遏排撃の準備、即ち國民戰意の破碎を防ぎ戦争長期に及んで益、之を熾烈ならしむると共に進んで敵の精神的團結を攪亂するの準備を整へねばならず。之が爲には先づ日本精神を確立することが必要である。

日本精神の確立 平時時に於ては大なる波瀾なく一見確立せるが如く思惟せらるゝ國民精神も、戦時に於ては其生活の壓迫に伴つて動搖し、動もすれば不平不満の念を生じ易い。

然れども、非常時には非常の手段がなくてはならぬ。戦時倥傯の際、萬人をして其意を得しむることは到底爲し能はざることである。

故に個人の利害得失の如き、些々たる係争は之を總復員後の解決に委ね、能く小我を棄て、純正なる日本精神に立脚し、國民をして悉く其職分に應じ、和衷協力の實を擧げしめなければならぬ。而して此不平を忍び不満を抑へて國家の統制に服せしむるものは、即ち崇高なる國家觀念であつて、之が確立の爲には、共產主義者の彈壓のみに止まらず、國家の全面に互り苟くも糜爛せる物質文化の弊を醸成する因子に向つて、徹底的磨懲を加ふると共に、各教育機關を刷新革正し、且全教化團體を糾合して日本精神の鼓吹徹底を期しなければならぬ。而して戦時國民をして、戮力協心義勇奉公の至誠を披

瀝せしむる爲には、先づ平時より農山漁村の救済、中小商工業の振興、特権階級の横暴打破等による社會政策の徹底を期し、下は上を怨まず、上は下を苦しめず、相共に國家を淨化し、國民をして其所に安んせしめなければならぬ。

滿洲事變勃發以來、變轉極みなき帝國内外の情勢の爲、千波萬波の波濤に揺られたる國民精神も、事態の正視を俟つて漸く沈靜に歸しつつある。此機を失せず、速に我國是に基く指導精神を確立し、國民をして嚮ふ所を知らしめ、一糸亂れず來るべき危機に備ふるの準備を必要とする。

□ 人員動員

戰時國の要する人員は軍の所要兵員の外、軍需工業及總動員の要員で莫大なる數に上り、其供給は人員資源に恵まるゝ我國と雖も、決して容易の業ではない。即ち將來戰に於ける參加兵員は、到底日露戰爭に於けるが如き百萬の寡少兵員にあらざるは勿論、軍需工業の要員は、大戰間に於ける各國の事例に徴するも概ね戰場兵員の二倍を要し、更に運輸通信、警備及總動員の執行並國民生活維持等の爲、多數の人員を必要とするのである。

徵募統制機關の確立 此勢力補填の爲、大戰間獨逸は祖國補助勤務法を制定して、滿十七歳以上六十歳未滿の男子の使用權を政府に收め、佛國亦、之に倣つて國民動員法案

戰時に對する戦力の統制に就て

を準備し、英國は國民勞務法に依り、一般男子を戰時必須業務に服せしむることゝした。其他の交戰國も概ね之に類似し、米國の如きすら徵兵法と登録法との制定運用に依り、國民は戰爭に赴くか働かざらんば監獄に行くか其何れかを選ばざるべからずと爲し、無爲徒食の輩を絶滅せんと努めた。

我國に於ても亦戰時は、健康なる男子は勿論老幼、婦女、廢失者に至る迄、苟くも用ひ得べき者は悉く之を用ひなければならぬから、其募集徵用並勞力統制の爲、全國に互り大規模の徵募統制機關の確立を必要とするのである。

召集猶豫、軍需工業動員法による強制徵集 而して人員資源上戰時不足を告ぐる者は、技術職員、職工、船員、及無線電信員等で、其補填の爲には離業者の徵募の外、學校工場等、利用し得べき一切の機關を利用して、急速養成に努むるも尙特に開戰當初に於ける需要充足の爲には、已むを得ず兵役關係者と雖も緊要缺くべからざるものに限りに、召集猶豫の特例を設け、更に國家の必要に際しては、軍需工業動員法に依り、兵役關係の有無に係らず、何人と雖も戰時に際し軍事輸送機關、並政府の管理するか又は國の經營に係る軍需品の生産、修理に任ずる工場、事業場に強制従事せしめ得る様になつて居る。

是れ大戰間各國が國民統制に關する念慮を缺き、兵員と一般勞務員との按配宜しさを得

すして、一旦戦線に送れる職工を再び内地に召還せるが如き失態なからしめんが爲である。斯かる勢力不足の反面、開戦の當初に於ける経済界の恐慌は我生絲紡績の如き過剰資源の生産中止手控を來たし、開戦直後俄然多數の失業者が出来るのが常であるから是等従業員を他に轉用することをも願慮することが必要である。

大戦間獨逸は、開戦後一年を経て失業者の比率が漸く戦前の状態に復し佛國は失業者の消滅を見る迄に二年餘の長時日を要したと謂ふことである。

勤勞報國 何れにせよ全國民に勤勞報國の精神を喚起し、自ら進んで必須事業に従事せしむると共に、兵役關係者相互間は勿論、非兵役關係者との間に於ても、戰場に出で、死生の巷を馳驅する者と内地に止つて暖衣飽食する者と、其負擔報酬に均衡を保持せしむることは、衆心一致の國防觀念を強化する爲絕對の要件である。

ハ 産業動員

平時産業は國民生活を主體として一部の統制を加ふるに止るが、戦時産業は軍需充足を第一義として統制經濟に依るを本旨として居る。而して其轉移が整々に行はれなかつたならば、經濟恐慌の波紋を大にし、供給を圓滑ならしむることが出来ずして、戦争遂行の信念を破壊する。故に平時より戦時經濟の根基を確立し、平戦時の産業政策を調和

戦時に対する戦力の統制に就て

して、戦時に於ける軍民の需要を満足せしむべき準備を完成して置く必要がある。

a 不足資源の補填

満洲國の資源を活用し得る現在に於ては、食糧、鐵、石炭の如き戦時必須資源は概ね國の需要を充足することが出来るが、石油、鉛、亜鉛、錫、「ニッケル」、「アルミニウム」、白金、水銀、石棉、「ベンゾトル」、「トルオール」、生「ゴム」の如き重要資源で不足するものが少くない。是等不足資源に付ては戦時一層消費節約、廢品利用等の手段を講ずるは勿論、其開發、確保、又は代用品の研究に於て萬遺憾なきを期し、苟くも資源の爲に作戦を制肘し國民を塗炭の苦中に投せざるの準備が必要である。

不足資源の開發 不足資源の開發は我勢力圏内に於て徹底的に行はねばならぬが、之が爲には彼の鞍山製鐵所に於ける貧鐵處理、攀土頁岩に依る「アルミニウム」の製造、又は夏梅鐵石に依る「ニッケル」の工業試験等、常に新なる資源と新なる方法とを以てする資源開發に著意すると共に、戦時の爲に愛惜すべき貴重なる此種資源を却て平時に於て涸渴せしむるの結果を招かざる爲、豊富ならざるものにはありては、平時は隨時所望の如く生産し得る準備の範圍に止めて、輸入原料を使用する生産工場を設け、戦時輸入杜絶と共に直に此内地原料に置き代ふるの著意が必要である。輸入原油による製油事業の如き即ち是である。

資源の保有、回收並代用 然れども生「ゴム」或は石油の如く、我勢力圏内に於て如何に其開發に努むるも質或は量に於て、我需要を充足し得ざるものは、資源の保有又は代用の途を講じ、尙且不足するものは已むを得ず之を輸入に俟たなければならぬ。

資源の保有とは、製造會社に於ける原材料の貯藏等の如く生産又は販賣上の必要に基く貯藏の外、日常に於ける家庭用器具の使用等をも含める謂であつて、彼の「ニッケル」貨幣の如く、平時は資源の死藏に陥らず、戦時は後害を残すことなして、隨時之を回收し軍の需要に應せしむるを以て理想とするのである。資源の代用とは、亞鉛に代ふるに銅合金を用ひ、揮發油に代ふるに酒精を用ふる等、假令規格を低下するも不足資源を他の保有資源を以て代用せしむるの謂であつて、之が爲には平時より不斷の研鑽を積み且其使用に習熟して居なくてはならないのである。

軍事優先 何れの場合に於ても資源の配當は、軍需充足を第一義とし、資源の爲に作戦を制肘せざるを以て本則とするのであるから、石油の如き重要不足資源に付ては、軍自ら努めて消費を節約し、經濟的に使用すること勿論であるが、更に國內に現存するもので取得し得べきものは、最後の一滴に至る迄悉く之を軍用に供し民間需要に對しては代用品を以て満足せしめなくてはならない。

戦時に對する戦力の統制に就て

一方近代戦の複雑化は、時として政略上の見地に基く作戦指導を必要とするに至り、資源戦を惹起することが少くない。世界大戦に於ける英軍の「メソポタミヤ」作戦又は獨逸軍の羅馬尼亞作戦の如きは共に資源戦とも観らるべく、我國に於ても亦其必要の生ずべきことは想察に難くないのである。

b 過剰資源の對策

消化増進、生産轉換 我國輸出の大宗たる生絲(殆んど全部米國に輸出)及紡績(大部は東洋各國に輸出)の如きは、國內に於ける戦時の需要僅少にして若一度輸出杜絶せんか、之に依て生計を立つる千數百萬人は經濟的に甚だしき打撃を受けるから延ては戦争忌避の觀念を惹起せしむる虞がある。全國民を驅つて戦争遂行に邁進せんが爲には、此の如き事態の生起は極力之を防止しなければならぬ。従つて是等過剰資源に對しても、亦努めて我勢力圏内に於ける消化増進策を確立し、已むを得ざるものは戦時勃興すべき各種産業の轉換を容易ならしむることが必要である。即ち滿支兩國に於ける徹底的市場の獲得、又は生絲を以てする羊毛の代用、桑園の轉換等はである。

c 工場動員

工場の新設、擴張と轉換 戦時に於ける工場の生産分野は、需要の變動に伴ひ平時と

著しく其趣を異にする。即ち軍需工場の如きは非常の勢を以て新設擴張せらるべきも、生絲、紡績の如きは需要の激減に伴つて閉鎖、縮少せらるゝか又は他の生産工場に轉換するの已むを得ざるに至るのである。而して本邦工場の戦時能力は固より戦争勃發の推移、及其状況並戦時に於ける一般の狀態等に依て異なるが近年に於ける工業の躍進を以てするも、尙且戦時に於ける巨額の需要を充足することは出来ない。従て軍需工場の新設、擴張を策すと共に、染料工場又はセルロイド工場の如く容易に火薬工場に轉移せしめ得るものは勿論、其他の工場でも萬難を排して軍需工場への轉換を圖らなければならぬ。我國に於て最も多數を占むる生絲又は紡績工場に於て特に其必要を感するのである。

此外、家内工業の徹底的利用、工作機械の改良等、生産能力充足の爲、平時より周到綿密なる計畫を樹立することが必要である。

工場の管理、使用、收容、産業系統の確立 斯くして得べき軍需工場の大部は戦時、軍の管理、使用又は收容工場として、軍の使用に供せられ、又調辦工場として直接軍需品の製造をしなければならぬから、軍民の需要を顧慮し軍需品と一般需要品との生産分野、換言すれば軍需動員工場と總動員工場との限界を明瞭ならしむる必要が有る、又近世工業の複雑化に依り數個の段階に依る廣範圍の下請又は部品工場を必要とするものが

戦時に對する戦力、統制に就て

少からずあつて動もすれば生産系統を無節制状態に陥れ、製造上の隘路を構成する虞があるから、需要の緩急に應ずる生産分野を決定し、産業系統を確立する爲全工場に對する統制を強化せなければならぬ。

企業の合理化 之が爲には企業組織を改變し、重要な産業は平時より各業種毎に生産機關を統合して企業の合理化を圖ると共に、戦時の統制を簡易ならしむることを必要とする。戦時獨逸が殆んど其工業の全部を「カルテル」化せるが如き、或は伊太利が現に平時より全産業を組合組織化せるが如き、固より利害得失はあるが、共に他山の石とするに足るのである。我國に於ても製鐵合同を始め各種の生産、販賣組合設立せられて居るのは統制上大に喜ぶべき所であるが、反面消費者の立場を考慮せず獨占企業の弊を暴露しあるものが少くないのは頗る遺憾とする所である。

教育註文制度 而して是等の諸工場中、戦時急速に需要の激増するもの若くは新に軍需工場に轉換せらるゝもの等は其生産能力を精査して戦時轉移の準備を整へ特に教育註文制度に依り、平時より軍需品の製作に習熟せしめ、且成し得れば設計圖、刃工檢具等を整備して、戦時轉移の完全準備を圖ること必要である。

規格統一 又軍用と一般民衆用とに依る成品規格の不統一は、相互の流用を妨げ大量

生産を許さずして、原材料は勿論設備上に於ても亦無駄を生じ、所要補填額を累加せしむるを以て相互に甚だしき利害得失の衝突を見ない限り、規格を統一して彼此融通に便ならしむることが必要である。

二 貿易管理

東亞經濟聯盟 戦時貿易は主として我勢力圏内又は與國との間に限らるゝが故に、日滿經濟「ブロック」を擴充して東亞經濟聯盟を結成し、努めて戦時に於ける我經濟圏を擴大して資源の有無相通を容易ならしめなければならぬ。我經濟圏を亞細亞より太平洋洲に及ばしむることが出来れば主要資源中生絲、石油、「アルミニウム」等の輸出入を除き、他の原材料の自給に大なる苦痛を感ずることなく貿易額は少くも平時の半を維持し得べく、之を亞細亞の範圍に止むるときは更に羊毛の輸入杜絶し、貿易額に於て若干の減少を見るのみである。而して平時に於ける貿易の對照を戦時豫想する我勢力圏外に求むるに従ひ、戦時貿易への轉移益、困難となるから、平時貿易の對照も亦努めて戦時の要求に合致せしむるの著意が必要である。但我勢力圏内に於て有無相通じ得ざる不足並過剩資源は、平時に於ける對象を努めて本圏外に求め戦時に於ける對策を確立し置くべきことに關しては既に述べた通りである。

戦時に對する戦力の統制に就て

貿易管理機關 戦時に於ける本貿易實施の適否は、直に國家の戦力及國民生活に影響する所が大であつて、平時に於ても我輸出貿易の飛躍に依る經濟鬭争の激化は、至る所に經濟黃禍を絶叫せしめ、戦時我の欲する與國をすら經濟的敵國に加盟せしめんとする實情なるに鑑み、特に戦時に於て新なる貿易の管理機關を設置し、政府の行ふ輸出入は勿論一般貿易業者にも鞏固なる統制を加へ、我外交折衝と相俟ち貿易對策を誤らないことが必要である。

之が爲平時より國家内外の資源狀況を明にし、國際情勢の機微を捉へ、戦時第三國は勿論之を介して敵國をも資源的に利用し得るの準備を爲しておくことが必要である。

ホ 金融動員

戦費 戦費は戦争の規模、期間等に依つて異なるが世界大戰に於ける實績に徴するに平均年額獨逸は三百四十一億「マルク」、英國は十七億五千萬磅、米國は百三十一億弗の巨額に達して居る。従て將來戦に於ては我國に於ても日露戦争に於けるが如き小額（全期間を通し約十五億圓）の戦費に止まり得ざることは明瞭であつて之が調達法たる増税並公債は各利害を異にする爲、我國情に照らし其調和を圖らなければならぬが、大戰間に於ける主要各國の公債は、其募集年額百二十億圓乃至三百億圓に達して居る。

全準備 此巨額の戦費の大部は我勢力圏内に支出せられ、圏外支出は其一小部分に過ぎずして對外支拂の外、全準備を必要としないから、假令外債募集の不調を前提としても、之を以て直に戦争を忌避するは當を得たものとする事は出来ない。但日銀の現在に於ける金保有量の程度を以ては満足出来ないこと勿論であつて、之が對策は先づ本邦産金の海外逃避防止を以て第一義とするのである。

通貨の膨張、物價騰貴 戦費の國內支拂に伴つて必然的に通貨の膨張を來し、延ては物價の騰貴を誘致するも戦費は年々數度に分割支出せられ、之に併行して内債も亦逐次募集せられるから、通貨は循環運行して過度に膨張することなく、物價騰貴も亦從て某程度に之を抑止することが出来る。世界大戦間に於ける各國の通貨は、概ね平時の二倍半乃至十倍に膨張し、物價は供給狀況に依り著しく異なるが概して二倍半乃至五倍に騰貴した。我國に於ては食糧、鐵、石炭等戦時に於ける最重要資源は概ね充足し得らるゝ狀況に在るから其處置宜しきを得ば、通貨の膨張は勿論物價の騰貴も亦之を最少限度に抑制することが出来る。

特設金融機關 此の如く戦争を目標として金融界を總動員し、努めて之を正常に維持するが爲には、現金融機關に對する統制力を強化する外、金融組織變更の要否を考究し

戦時に對する戦力の統制に就て

て、其對策を誤らないことが肝要である。然らざれば經濟界は動搖、恐慌を反復して常なく、總動員の全面に波及し遂には國の戦力を萎微衰退せしむるに至るのである。之が爲大戦間米國が特殊金融機關を設置して戦争遂行上特に發展を必要とする企業に投資せしめ、或は獨逸が貸付金庫を新設し農産物、商品等を擔保として一般に融資せしめたるが如きは共に吾人の大に參考とすべき所である。

へ 其 他

a 運輸通信

戦時陸海空の運輸機關に對する軍民の需要は著しく増加し通信機關も亦頗る繁忙を加へるであらう。故に國の動脈たる是等機關は其補填方策を確立し各、其特性に應ずる統制法を適確ならしめ以て物資並通信の流動を阻止停滯せしむる結節を構成することなく開戦の初頭より整然たる流を形成せしめる準備が必要である。

b 技術動員

發明研究は軍の作戰資材たると國民の生活資源たるとを問はず、極めて重要な事項なるを以て、平時より全研究機關を統制し、國の必要に基き之が運用を講せなくてはならない。先般發表せられたる國家重要研究事項の如きは即ち其端緒なりと謂ふこと

が出来る。

c 警備

戦時陸海空に對する警備の完璧を期せんが爲には、平時より軍の警備を核心として全警備機關の統制ある警備計畫を樹立しなければならない。敵の空襲に對して特に其必要を認むるのである。

d 情報、宣傳

情報、宣傳戰が平戰兩時を通じて必要なるは勿論なるも、特に戦時に於ては國の内外に對し極めて重大なる影響を及ぼすを以て、全機關を統制し、一貫せる方針に基づく計畫準備を必要とする。

e 戦時法令

戦時施行せらるゝ各種の運用統制策は、平時と著しく其趣を異にするから別に戦時法令を準備しなくてはならない。彼の軍需工業動員法は戦時法令の重大要素を含有せるも尙附加すべきものが少くないばかりでなく、未だ施行の體系を有して居ない。

f 總動員執行機關

資源局は戦時構成せらるべき總動員執行機關の核心たるべきものであるが、戦時之を

戦時に對する戦力の統制に就て

擴充し全國に統制ある執行機關を設立するの準備を講せねばならぬ。

四 結 言

大戦の慘禍を滿喫し、平和欲求の念に驅られたる列強も、今や再び本然の姿に歸り、各、經濟「ブロック」の孤城を擁して、果敢なる經濟戰を演じつゝ、斷然舊殻を棄て、一意戰爭準備に邁進しつゝある。歐米に平和なく、東洋に干戈動き、表面平靜を裝ふも波瀾は波瀾を生んで危機を孕み何時爆發するかわからない。

皇道を宣布し、東亞鎮護の守護神を以て任ずる帝國は、速に内は國力を總動員して軍に鞏固なる支援を與へ、外は日滿統制經濟を強化して之を東亞の共同防衛に擴充し、以て其平和擾亂者に向ひ躊躇なく破邪顯正の天劍を加ふるの準備を完成して、明日の危機に備へなくてはならぬ、而して之が根基は人心の和である。

此精神的團結を求むる能はずして、如何に物質的要素の整備に汲々とするも、夫は龍を畫いて晴を點せざるの類であり、大なる價値を有しないのである。此精神的團結ありてこそ、爾他の物質的諸準備は、數倍乃至數十倍の効果を發揮し得るのである。黨争を排し、勞資を固め、國民精神を糾合し、軍需諸品を整備して、戰爭の準備に邁進すると、眞に今日より急なるは無いのである。